

認知症機能評価スケールを活用したイベント運営業務委託 受託予定者の選定基準

認知症機能評価スケールを活用したイベント運営業務受託予定者については、次の基準により選定するものとする。

1 業務の実施体制について

- (1) 本業務の委託内容を十分に理解したうえで、全体スケジュールが具体的に示されているか。
- (2) 委託内容を実施するため、適切な人員配置、管理・サポート体制となっているか。

2 認知機能評価について

認知機能評価に使用するデバイス、データを集積するクラウド等とともに、本事業の運営に十分なスペックであるか。

- (1) 認知機能評価のエビデンスと他の認知機能評価スケールとの相関性が示されているか。
- (2) 評価項目及び総合点数等でMC Iの可能性のある人を判定することができているか。
- (3) 評価結果のレポートは見やすく、結果に応じた日常生活のアドバイスが記載されているものであるか。
- (4) デバイス、データを集積するクラウド等とともに、十分なセキュリティ対策が確保されているか。

3 イベントプログラムでの活用について

- (1) 本事業で活用するツールの導入から利用開始までの流れがわかりやすく記載されているか。
- (2) 本イベントのプログラムで、認知機能評価の実施時間「20分間」でタブレット端末等の準備から結果判定まで、効率的なすすめ方の提案であるか。

4 情報整理・データ分析について

参加者の属性や評価結果のデータの集積と発注者が事業評価や効果検証のために活用できる集計データの抽出及び分析のイメージが具体的に示されているか。

5 会社概要及び業務実績について

- (1) 高齢者対象のイベントについて、他の自治体等で同様の業務委託の実績があるか。
- (2) 認知機能評価について他の自治体等での導入実績があるか。

6 プレゼンテーション

本事業の目的の推進のため、将来的な事業拡大を踏まえ、運用コストを含めて、独自企画や認知機能評価スケールの具体的な活用方法などの追加提案があるか。

評価採点の考え方

1 各項目と配点比率

項目	配点
1 業務の実施体制	20点
(1) 本業務を実施するための全体スケジュール。	10点
(2) 本業務を実施するための人員体制と管理体制。	10点
2 認知機能評価	30点
(1) 認知機能評価のエビデンスと他の認知機能評価スケールとの相関性。	5点
(2) 評価項目及び総合点数等の判定。	5点
(3) 評価結果のレポート。	10点
(4) セキュリティ対策。	10点
3 イベントプログラムでの活用	20点
(1) 認知機能評価ツールの導入。	10点
(2) 本事業プログラムでの活用イメージ。	10点
4 情報整理・データ分析	10点
参加者属性の情報や評価結果のデータ抽出及び集計・分析。	10点
5 会社概要及び業務実績	10点
(1) イベント運営の受託。	5点
(2) 認知機能評価の導入実績。	5点
6 プレゼンテーション	10点
今後の事業展開への提案。	10点
合計	100点

2 各配点の考え方

(1) 配点が5点の項目

評価	優れている	やや優れている	普通	やや劣っている	劣っている	提案なし
得点	5	4	3	2	1	0

(2) 配点が10点の項目

評価	優れている	やや優れている	普通	やや劣っている	劣っている	提案なし
得点	10	8	6	4	2	0

3 採点結果

(1) 配点

1 出席委員あたり100点を持ち点とし、出席委員数×100点を総合計点とする。
 なお、各委員は、評価採点で同点の場合も、各業者の順位を表示すること。

(2) 基準点

総合計点の60%以上の得点、かつ各出席委員の点数が50点以上とする。

4 選定方法

(1) 提案者が1業者以下の場合

基準点を満たした場合、受託予定者とする。

(2) 提案者が複数の場合

最高得点提案者を受託予定者とする。総得点と同点の場合、出席委員による各業者の順位が上位の提案者を受託予定者とする。さらに、順位同率の場合、くじ引きによるものとする。